Creative Enzymes®

酵母由来のイソクエン酸脱水素酵素 (NADP+)、組換え品

Cat. No. NATE-0351

Lot. No. (See product label)

はじめに

明	イソクエン酸デヒドロゲナーゼ (IDH) (EC 1.1.1.42) は、イソクエン酸の酸化的脱炭酸反を触媒する酵素であり、α-ケトグルタル酸 (α-ketoglutarate) と CO2 を生成します。これは二段階のプロセスで、イソクエン酸（第二級アルコール）の酸化からオキサロ酢酸（ケトン）を生成し、その後、ケトンにしてベータのカルボキシル基の脱炭酸を行い、α-ケトグルタル酸を形成します。ヒトでは、IDHは三つのアイソフォームが存在します：IDH3は、ミトコンドリア内でNAD+をNADHに換しながら、クエン酸回路の第三段階を触媒します。アイソフォームIDH1およびIDH2は、クエン酸回路の文脈外で同じ反を触媒し、NAD+の代わりにNADP+を補因子として使用します。これらは細胞質およびミトコンドリア、ペルオキシソームに局在します。
別名	イソクエン酸脱水素酵素 (NADP+); EC 1.1.1.42; IDH; イソクエン酸脱水素酵素; 二重補因子特異的イソクエン酸脱水素酵素; IDP; イソクエン酸 (NADP) 脱水素酵素; イソクエン酸 (ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸) 脱水素酵素; イソクエン酸脱水素酵素 (NADP); イソクエン酸脱水素酵素 (NADP依存性); NADPイソクエン酸脱水素酵素; NADP (+)-ICDH; NADP (+)-IDH; NADP (+)-連結イソクエン酸脱水素酵素; NADP依存性イソクエン酸脱水素酵素; NADP依存性イソクエン酸脱水素酵素; NADP連結イソクエン酸脱水素酵素; NADP特異的イソクエン酸脱水素酵素; オキサロスシン酸脱炭酸酵素; オキサルスシン酸脱炭酸酵素; トリホスホピリジンヌクレオチド連結イソクエン酸脱水素酵素-オキサロスシン酸カルボキシラーゼ

製品情報

種	酵母
由来	ピキア・パストリス
形態	液体
EC番号	EC 1.1.1.42
CAS登番号	9028-48-2
活性	r-ICDH 活性 = 100%
混入物	NAD+:
特異性	通常 >35 U/mg タンパク質

保管・発送情報

保存方法	-20°C